

内郷報

天法人則
從順ナ
ルベシ

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村方赤實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、進歩和進努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事興行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘力を以て、國民善導に當る。

公民道の確立と 選舉法改正案

大内民惠

福島縣選舉正委員たる記者は、七月四日附を以て、伊藤本縣知事より、左の二項について、意見を徴せられたので、本文を草して、其答申したのであります。

一、今後ニ於ケル肅正運動ハ其重點ヲ國民ノ公民的教化訓練ニ置キ公民道ヲ確立振作シ併セテ地方自治ノ淨化刷新ヲ圖ルヲ緊要ナリト認ム之ガ具体方策如何

二、選舉制度運用ノ實績ニ對シ法令ノ改正ヲ要スベキ事項如何

先づ第一項より愚見を開陳いたします。御指示の通り今後に於ける肅正運動は、須らく其重點を、公民的教化訓練に置き、公民道を確立振作しなければならぬ事と思はれます。されど其具體的方策に至つては、頗る至難の事であると思はれます。世人はやゝもすれば、各種選舉の腐敗墮落を見て直ちに公民教育、政治教育及び其等の訓練を叫び、何ぞぞうした特種機關の必要を、説く者も少くない様であります。私は其に先立つて、一般國民の徳性品性

を強くいたしました。將來の方針について御許しを戴き、誠に有難う御座りました。兄と相談して取り極める事に致します。馬具は秋に購へる豫定にして、

つたを、思はれるのであります。恐らくは國民のすべの如何なるものかは、よく知つて居るのであります。知つて居つて、違法行為を敢てする其行動たるや、真に卑しむべく、將た隣むべきものであると思はれるのであります。

四百余人の代議士中、今や失格せんとする者七十余、其をめぐる違犯者二萬數千と聞く、此現象より相像打算すれば、幸に運よくも、法網をのがれたるもの、其幾何なるか、測り知るべからずであります。而して此等の人々は、何れも選舉法も公民道も、人一倍承知して居つて、しかも其裏をかかくべく、蠢動して居る、横着千萬なるものであります。孔子が宰予を評したる言の如く、朽ちたる木はゑるべからず、糞土の牆はぬるべからずで、正に濟度すべからざる者であります。

世の多くの人は、何れも大衆——國民——選舉民に對して、選舉肅正を説くのであります。其は正しく見當違ひで、其根元は、被選舉人——候補者にあるのであります。例へば水源地を清めずして水道使用者に衛生を説く様

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社名は字様に對する選言を發するものなり。

本紙定價 一月一元 半年五元 一年十元

發行所 内郷村報社
福島縣石川郡内郷村大字大内二丁目
電話 石川郡内郷村 一四二九

印刷所 平活版所

なものであります。こゝに於て私は、公民道確立振作の具體的方策として、此等候補者級の人々の反省轉向を促がすと同時に選舉法の大改正を行ひ、力を以て、徳を以つてするにあらざれば、金を以て、運動を以てしては、到底當選するを得ざらしむる方法をとるにありと信ずるのであります。一般候補者は、

江連 牛仙
志賀 野春司
石田 修二
高木 撫山

去年より少し安値で買梅賣り自轉車で來る百姓や夢の秋つれ著て地蔵かしこし夏の風野天の花は好きなりみちたのし一度當選すれば、それこそ意氣揚々我こそはと、大手を振つて闊歩するのであるが、選舉に當面しては、隣れなる程に、法を氣にし、且つは有權者に迎合すべく小心翼々たるものであります。かうした雅氣弱味を利用して、大に反省させると共に、苟くも違法行為があるに於ては、容赦勸辦なく嚴罰に處する方法をとる様

にする事でありませう。かくする事によつて、一般有權者も無難なる事を得、かくて全國民が、知らず／＼の間、公民道の一路を辿らざるを得なくなつて來るのであると、思はれるのであります。それから盜を捕へて繩を縛ふ様なものであります。今日この暴狀は、畢竟するに教育の不徹底が、其主因をなすものであります。苟くも任に教育事業に携はるゝものは、立派に其任務遂行に専念すべきは勿論であり、全國民は相戒めて、教育勸語の、聖旨遵奉と、現内閣の聲明たる、國憲國法の尊嚴保持とを、國民協力神明に契つて、實行すべく一の同盟をつくつて、修養精進すべきであると思はれるのであります。要は、既に知れり、たゞ實行あるのみであります。

次に第二項の法令の改正を要すべき事項に關して、元來が法律には、門外漢であるが故に、常識的見地から管見を申し上げます。答申要目は、十項に涉つて居りますが、關心を有する事項についての意見を述べさせていただきます。

一 二面へつゝ

開拓記 録 (土)

北海道十勝國上川郡 清水町 清水山莊

大内 きみ子 一郎 文子 二郎

二十九日附お手紙、當方からの... 御來示の主眼で行く事にした... 此頃は蒸パンの博士になつて... 皆も大喜び、飯が水ほくてうま... ないさ申して居ります。今年... イメネギといふものを教はりま... したが、山莊のまはりに、澤山野... して居ります。之がなか／＼滋養... 豊富で、其天ぶらなどは、中々... 少ないものです。之を又野菜サ... ウイツチとしていた、く、それ... は捨て難い風味があり、一同大... 喜びです。今も午後のオヤツにつ... つて、畑へ持つて行つた處です... 大工さんも非常に結構だと思し... 居りました。ワラビもほつ／＼出... 始め、今年には昨年より大きい... すし、蒲英公董其他の草花も、... 年に比して、大きく奇麗に咲き... こつて居ります。之を見ては本... は豊作ぢやないかと思はれます... 蟬が今日始めて鳴き出しました... カツコウ、鶯を始め名も知れぬ... 愛らしい聲を出す小鳥の数々が... 我山莊を賑はして居ります。

牛舎は一郎の造つた、前の一寸小... 高いよい場所につくりました。出... 来れば、大した立派な物になり... ませう。今度御出になられたら、... 驚かれる事と存じます。之で私も... 一安心、此冬は馬共何程か助か... る事と存じます。馬の手の名はま... だつげません。近く役場へ届けら... ばなりませんが、よい思ひつき... がありましたらば、お願いいたしま... す、色は初春號と同じ背です。額... に大きな白星があります。三才に... なつてから去籍して使ふ事にすれ... ば、何程使手があるかわからぬと... 申して居ります。文字も一生懸命... です。今宮さんがお出になり、木... 下さんで、シヤガイモ十七俵を、... 一郎と二郎とで、一俵づつ、かつい... て、運んだには驚いた話して居... られたさうです。如何に二兄が頑... 健であるかをお喜び下さい。

先日は内郷村報、又岡山よりの御... 葉書誠に有り難う御座いました... 厚く御禮申上げます。吉備のきび... だごの到着も、一同鶴首の態、... 花咲號去月二十八日日出度分曉、... 今度は社で御座います。命名は如... 何にすべきや、一同鳩首考究中... です。敬具 六月二日 一郎

拜復 三十一日附御手紙御葉書並... に一日附山莊一同への御便り、誠... に有難う御座いました。遠藤太三... 郎氏の御好意、真に奈げない次第... です。猶明日四才牡馬借用の爲め... 同家へ参上の様定です。松野郷長... より豫想以上の御努力を願ふ云々... 後猶一層の御努力を願ふ云々とい... ふ御便りがありました。馬の名は... お母さんの動議で、山莊號と決定... いたしました。昨夕から今朝にか... けて、相當物凄雨が降りました... た。今晴れる様です。一同元氣で... すから御安心下さい。皆々様によ... るべく。六月五日 一郎

拜復 御手紙有難う御座いました... 相變らず御元氣の御座、大いに... 意を強ういたしました。將來の方... 針について御許しを戴き、誠に有... 難う御座いました。兄と相談して... 取り極める事に致しました。馬... 具は秋に購へる様定にして、

居りましたが、今度遠藤太三郎さ... んから、一時耕馬を御借りする事... になりましたので、鞍の必要を生... じ、兄が明日幸震に行く途中、帶... 廣で、買つて行く事に致しました... 金は私の貯金で、大概間に合ふか... と思はれます。吉備園子にお汗粉... は頼るおしく戴きました。誠に... 有難う御座いました。厩舎も骨組... が出来上り、山莊の一角に、嚴然... とそ、り立つて居ります。仔馬は... 益々元氣で、盛んに山中を馳け廻... つて居ります。明後日より新築に... せりかゝる様定で、一同緊張して... 居ります。今は藤の出盛りで野も... 山も畑も、小さな握り拳の林立で... す。追々暑さに向ふ折柄、御身御... 大切に願ひ上げます。猶巻幟小母... さん始め皆様によるしく御願ひた... します。六月五日 二郎

親と共に、放し飼ひにして置きま... すが、坂を上つたり下つたり、親... 以上に愉快そうに馳けまはつて、... 遊んで居ります。今頃は、豚、... 兎、雞全部も野ばなしで御座いま... す。牧場馬や牛の啼き聲、小鳥... の轉る聲、山莊もとても賑かに... なつて来ました。豚は遠く瀬戸さ... んの方の畑までも、遊びに行つて... 居りますが、飼ひ付けの時間にな... ると、アブー云はせながら、二... 匹とも仲よく、馳けて来る處なご... 様子に似合はず、なか／＼愛嬌が... あつて可愛らしい御座います。お... 母さんも、賑取りに、炊事に、其... 上大工さん、左官さん、屋根屋さ... ん等々、五六人も参つて居ります... ので、それこそ御守暇なさいといふ... 御繁忙さで御座います。

山莊の四周は皆一色で、鶯も鳴き... 始め、村有牧場は、馬牛が三々五... 々群れ遊んで、長閑な初夏の光景... を描いて居ります。七、八日頃よ... り新築に取りかゝる様定さうで... す。畑の作物も大部分發芽して、... 土に親かむ生活に、大いなる喜び... を感じて居ります。末筆ながらお... 父上様の御自愛を祈り上げます... 六月五日 文子

拜復 御手紙有難う御座いました... 益々御元氣の御座、喜びに堪へ... ません。小生も元氣と申上げた... 處ですが、一昨日谷から厩舎の材... 料をかつぎ上げる際、餘り力が入... り過ぎた... 爲、兩足裏の前の方... 筋の所をアカギンの大きい位の程... 度に割つてしまひ、其上左足の向... 腹にシヤハルの先をぶつつけ、右... 足を馬に踏まれ、仕事はつれぬ事... はないので、母上が心配せら... るので、残念ながら今日一日休... む事に致しました。今日からいよ... 々々新築にかゝり、馬の掛聲を聞... く、つづ／＼して来ますが、致

し方なく足を擦して、天井をなら... せて居ります。然し悪いのは足だ... けで、身體は頗る元氣で、持てあ... まして居る位ですから御安心下さ... い。パン食も慣れて一向苦痛を感... じません。米はかへつて水ほくて... おいしくない様な氣がします。播... いた種が、芽を出して、伸び行く... のを見ろ、全くうれしくなつて... 来ます。乗馬用具は、六日に兄... が帶廣から買つて来てくれました... 總計參拾圓で、小生が皆様から錢... 別にいたゞいたものと、小つかひ... の残りを含せても、聊か赤字で... 此精算は何れ父上の御厄介になる... 事と存じます。其内譯は左の通り... です。(内譯略す)

初春號の足さ、小生の足さにな... りましたら、仰せの通り乗馬姿を... 寫真してお目にかける事にいたし... ます。末筆ながら皆様によろしく... 御願ひいたします。私共が後願の... 憂なく山莊に活動し得らるゝも、... これ偏に父上始め、事務の方々の... おかけ感謝いたして居ります... 六月八日 二郎

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村方亦實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、親親和進努力の實現を期す。
三、本村社会事業の徹底を期す。

- 四、村内の慈善興行を奨励し、且之を獎勵す。
五、本村木材村出資者及本村附屬者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、餘餘力を以て、國民慈善に當る。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社費は子孫に對する遺言を發するものなり。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社費は子孫に對する遺言を發するものなり。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社費は子孫に對する遺言を發するものなり。

天法 順人 則

つたと、思はれるのであり... ます。恐らくは國民のすべ... ては、政治なり、選挙なり... の如何なるものは、よく

なま... でありませう。かく... こゝに於て私は、公民道確... 立振作の具体的方策として... は、此等候補者級の人々の

にする事でありませう。かく... する事によつて、一般有権... 者も無難なる事を得、かく... て全國民が、知らず／＼の

にする事でありませう。かく... する事によつて、一般有権... 者も無難なる事を得、かく... て全國民が、知らず／＼の

福島縣 私立 生活改善會報 第一號

家力の充實 年四百萬圓の節約

會長 大内民恵

今や非常時！此時局を如何に突破すべきか。之を一言にして盡せば、國力の充實にあると思はれる。而して國力の充實は、縣力の充實、郡力の充實、村力の充實、家力の充實であらねばならぬ事も亦當然であつて、家力の充實は、其總體の基礎をなして居る事は、いふ迄もない次第である。其處に政治外交産業軍事等々、あらゆる方面の振興が見られ、帝國をして磐石の安きに、置く基礎をなすものと思はれるのである。

今こゝに少しく、其基礎たる家力の充實に就いて、一言を試みやうと思ふ。家力の充實！予は未だ會つて、かういふ言葉を聞いた事がない、或は予が新造語かも知れぬが、兎に角、我々一家一世帯の、力の充實を意味するものであつて、其家族全體が一致協力して各其

ても亦、それを説いて來たのである。而して其改善は「先づ臺所から」といふ考へから、さうした方面に、特に大なる關心を持ち、往年長女が高女を卒業するや其意を含めて、東京に出し各種の料理を研究させたのも、畢竟其目的は其處にあつたのである。されど刻下我日本の一般家庭を一瞥するに、營養の研究も、相當に行はれ、料理法もそれぞれ進んでは居るが、未だ其食料品の含む、營養價を損する事なく、より經濟に（時間燃料調味料等の）より風味よく、調理する方法のなき事を、遺憾として居つたのである。然るに最近、

◎福島縣私立生活改善會

- 一、本會ヲ福島縣私立生活改善會ト稱シ、其ノ本部ヲ富分石城郡内郷村ニ置キ、風俗習慣、各種選舉、及ヒ衣食住等ノ、研究改善ヲ計リ、之ガ實行ヲ期スルヲ以テ目的トス。
二、本會ニ會長一名、理事、書記、賛助員各若干名ヲ置キテ其事務ヲ擔當スルモノトス。但シ賛助員ハ縣下ノ特志家并ニ方面委員ヲ依屬推薦スルモノトス。
三、本會ノ事業狀況ハ毎月一回内郷村報生活改善會報欄ニ於テ報導スルモノトス。以上

◎福島縣私立生活改善會 食物調理法部

- 一、本部ハ本會ノ目的ヲ達成セントシ、食物ノ研究ト之ガ調理法ノ改善普及（寺岡式炊事器使用）トヲ計ルヲ以テ目的トス。
二、本部ニ食物調理法研究所ヲ置キ、調理士ヲ養成ス。但シ其ノ養成規定ハ別ニ之ヲ定ム。
三、本部ニ於テハ、隨時各地ニ調理士ヲ派遣シテ、食物調理法ノ講習會ヲ開催シ、之ガ普及ニ從事セシム。但シ其ノ規定ハ別ニ之ヲ定ム。以上

寺岡氏の發明にかゝる、大合理的炊事法なるものを見るに及んで、之ある哉と、感嘆禮讃、直ちに予の經營する、七年會の炊事に應用したるに、年來の宿願が、一朝にして達成したるやの感に打たれ、磐城炭礦亦之を全山五千の従業員に、普及を計られるに到つたのである。こゝに於て予は、從來實行し來つた、生活改善の仕事に、組織を立て、之を條文化して別項掲載の如き會規を作り、寺岡式炊事器具を採用し、之が炊事法を、先づ本村より漸次縣下に普及せんと思ひ立ち、石城郡方面委員聯合會評議員會に諮りたるに、滿場一致、之も別項掲載の如く決議せられ、進んで縣社會課に申出でたるに、之亦賛意を表して、便宜を計られる事となつたのである。思ふに此一器を備へ、此炊事法を採用する其家庭に在つては科學的なる營養價の計算の如きは、もとより我等素人には、よく知るべくもあら

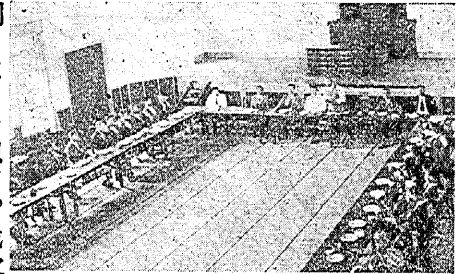
決 議 福島縣私立生活改善會が、目下宣傳普及ニ努メ、寺岡式炊事器具ヲ使用スル、食物調理法ハ、營養經濟風味各方面ヨリ檢討シ、最モ合理的効果アルモノト認メ、改善上劃期的方法ニシテ、生活聯合會ハ之ニ協力シテ、其普及徹底ヲ期ス。而シテ同會ヨリ寄附申出テ、同器具配給代金ノ一割ハ之ヲ各町村ノ社會事業助成會ニ次附スルモノトス。 右決議ス 昭和十一年六月二十二日 石城郡方面委員聯合會 評議員會

備 考 一、寺岡式炊事器具は、各家庭に使用せられる、普通の羽釜に比しつけられ、従来の高壓釜を簡單化した様なもので、その蓋に調節器を裝置し、各種食物の調理時間を示す事になつて居るので、子供でもよく煮たき事が出来るのである。二、例へば番茶をゆでたり、煮物を煮たりするに、水を入れ、燃料調味料等、從來の約三分の一位で間に合ふ。殊に干うごんなどをゆでるのに、從來の如く、手数を要せず、頗る簡單であり、麥飯（粒麥をたきこむ）赤飯、五目飯、煮豆、カレーライス等、如き、食物百餘種の料理が、雑作なく出来るのであり。

ねど、食料品其もの、含む水分を利用して、調理することによつて、其營養價が其儘保留せられる事は明かであり、經費に於ては、少くも一日五錢、一ケ年十八圓の節約は確かである。即ち縣下二十二萬の世帯が、之を利用するとすれば、何と驚く勿れ、一ケ年約四百萬圓を計上せらるゝのである。希くは縣民各位！家力充實乃至國力充實の一事業として、予の微衷を諒せられ、舉つて本會の事業に賛同せられん事を、念願して己まない次第である。

本會主催の講習會

一たび寺岡式大合理炊事法が、當地に出現するや、何れも其効果の卓越せるに驚嘆し、家政女學校を皮切りに、高坂校、内町校、宮澤峯根、竹内、御殿の各磐炭俱樂部と、矢繼ぎ早やに講習會開催、八百余名の受講者を見、磐城炭礦は之に鑑みて、全山普及を企てるに



會食試會役話世催主課務勞炭磐 (館徳頌翁野凌)

到りたるを以て、我改善會に於ては、六月十五日を以て、寺岡氏と特約を締結して、其事業に當る事となり若木重彬、酒井艶二、伊藤熊藏の三調理士をして、之を擔當せしめ、引きつづき各所に講習會を開催した。其概況は左の通りである。但し調理材料及諸経費は、

- 全部本會の寄附である。
- △六月二十一日、宮澤俱樂部、種目七種、人員四十名、講師 伊藤調理士。
- △六月二十六日、峯根俱樂部、種目五種、人員四十七名、講師 若木調理士。
- △六月二十七日、峯根俱樂部、種目五種、人員五十三名、講師 若木調理士。
- △六月二十八日、峯根俱樂部、種目七種、人員五十三名、講師 若木調理士。
- △六月二十九日、平太郎俱樂部、種目五種、人員四十七名、講師 若木調理士。
- △六月三十日、平太郎俱樂部、種目六種、人員四十七名、講師 若木調理士。
- △六月三十日、金坂通關熊藏氏宅、種目四種、人員三十七名、講師 酒井調理士。
- △七月一日、町田竹内、種目五種、人員四十三名、講師 若木調理士。
- △七月二日、町田俱樂部、種目五種、人員四十二名、講師 若木調理士。
- △七月三日、町田俱樂部、種目五種、人員四十名、講師 若木調理士。
- △七月四日、町田俱樂部、種目六種、人員四十三名、講師 若木調理士。

講師 若木調理士。
△七月六日、白水願成寺、種目六種、人員二十五名、講師 伊藤調理士。
△七月八日、御殿俱樂部、種目五種、人員二十七名、講師 酒井調理士。

福島 本宮 二本松

大内 民 惠

六月二十三日 (十三名宛) 民 惠

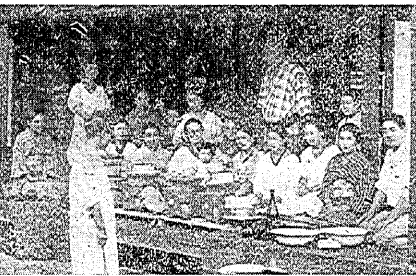
予は六月二十四日に、回春園擴張の件に關し、郡の方面委員を代表して、縣に陳情する用件もあつたので、之を機會に、平生御無沙汰をして居る、在福島の姉叔母從妹等々一族十余名の人々と舊情を温め、且つ先づ近親からさういふ考から、炊事法を傳授しやうと思ひ立ち、其前日福島へ歸る人があつたので、それに左の回章を托し羽釜七厘等用意方を頼んだのであつた。

其後は御無沙汰いたしました。その御機嫌よいお顔を拜じたり私頭の禿げ工合をお目にかけたり、且又此を好機として、皆様に大合理的炊事法を傳授し其出來たもので書箋を差上げ向一時間許り修養上のお話を申上げたと思ひます。御都合よろしければ、明二十四日午前十時迄に、安田の姉方へ、御參集下さる様御願いたします。追つて豫定時間は、一、小生は調理士一名同伴、明日前十時半福島驛着、材料分量等皆備し御相談の上準備、一時半より炊事開始、午後一時炊事終了、一時半書箋をすまじ、二、御服装は木綿浴衣の事、お土産は絶對御断りの事、以上

△七月九日、高坂俱樂部、種目五種、人員四十七名、講師 酒井調理士。以上因に講習種目は、赤飯、麥飯、煮べ、煮豆、干うどん、野菜のゆで方、パン製造等であつた。

六月二十四日の當日、伊藤調理士帶同、予定通り福島に着くや、社會課を訪問、昭沼主事の御臨席を乞ひ、川俣大野局長も馳せ參じ一同で相談して、普通飯、赤飯、五目飯、煮べ、菜ゆで、うどんゆでの六種目を選び、總かゝりて準備をなし、炊事も食事も講話も予定通りに進行、其間一列以來の懷舊談懇話に花を咲かせ、常に先生さか會長さかと呼びならされて居る予が右から左からも、民惠さんくと呼びかけられる、親しさ懐しさ。

右左我名呼ばれてしばらくは昔にかへる我にもあるかなの感なき能はずであつた。冠婚葬祭で、もなれば、近親が一室に會する事は容易でない、殊に御婦人さ來ては、やれ着物やお土産よ、お互が前以て打合せをしてからさういふ騒ぎなのである。然るに此度の會合は、叙上の通り突發的であり、皆機がすつかり實行して下されたので、一切萬事予定通り、目的を達する事が出来、こゝに一種の生活改善が、行はれたかと思ひましたのであつた。而して我炊事法には、御一同が感心せられ、何れも一組乃至二組を採用せられたのであつた。



會習講のり於に邸邊渡町宮本 人主は端右 士理調藤伊は衣白

介しないでは相濟まぬと、併せて豫て頼まれて居つた用件をも達すべく、村人三名を同伴、例の炊具を装置した、羽釜一ヶを御土産に持參、顔を見るや否や夫人に、ほうれん草、干うどん及煮べの材料を揃へて下さる事を申出て、女中さんに、其ゆで方煮べ及時間を示し、一方に予は用件を辯じ、指圖を、一、一時間以内につかり料理が出来上り、それ一同が一餐をいた、いて、お暇したのであつた。七島御夫妻も、其重寶なるにいたく驚かれ、こゝでも亦講習會開催の申出てがあつたのである。

先づ近親からで、越えて二十六日には、親戚同族賑賑の問柄なる、本宮町渡邊治氏邸に於て、講習會を開いたのである。同母堂の肝煎り、御本家母堂をはじめ、十余人の方達が御參集、種目は福島にそれに、カレーうどん、麥飯を加へた八種であつた。皆機が何れも熱心に、しかも研究的に御見捕ふて採用せられ、是非大規模に學校あたりで、講習會を開いてくれとの御注文であつた。